

高浜1・2号の再稼働を止めるため、高浜町で戸別訪問
「原発の寿命は40年と聞いていた。老朽原発は怖い」
「福島原発事故のことを思うと心配でならない」

高浜町全世帯の85%（約3,650世帯）で戸別訪問・チラシ配布（7月18日現在）

2023.7.18 更新版

ふるさとを守る高浜・おおいの会/安全なふる里を大切にする会（若狭町）/避難計画を案ずる関西連絡会



高浜1・2号の再稼働が差し迫る中、立地地元の人々の思いを知り、反対の声を広げていくために、福井の2団体等と避難計画を案ずる関西連絡会で、6月初めより高浜町戸別訪問に行ってきました。高浜1・2号の安全性に関するカラーリーフレットを配布し、再稼働に関する思いなどについて住民のお話を伺っています。これまで8回、高浜町はじめ福井県、兵庫県、大阪府から延べ40人が参加しました。高浜町は人口約9800人で、町全体が高浜原発の10km圏、大飯原発からも5～19km圏に入っています。現在、約4,300世帯中85%の約3,650世帯を回ったところです。

回ってみて印象的だったのは、再稼働への賛否にかかわらず、多くの人々が老朽原発の再稼働に不安を感じていたことです。「福島原発事故などを踏まえれば再稼働には反対だ」「立地町であり関電、原発関係の会社に勤めている人も多いため、原発の話はしにくい、声はあげられないけれども、事故が不安で、再稼働はしてほしくない」。一方で、「事故は怖いと考えないようにしている」という人や「再稼働に賛成だ。地元民の雇用や生活を守るためにはやむを得ない」と原発の危険性を感じながら雇用などを優先させる人もいました。原発で働いた経験から原発は反対という人もいました。フランスへの使用済燃料搬出計画については、「あんな計画では何も変わらない。ひどい話だ」との声や、「よく分からない」等の戸惑いの声もありました。立地地元で聞いた思いを広め、再稼働を止めていかなければならないと強く感じました。

以下、高浜町の人々の声をいくつか紹介します。

◆原発で働いているが、原発は反対

- ・以前大飯原発で働いていたので原発のことはよく知っている。定年で仕事をやめた。今ははっきり反対です。あんな危険なもの動かすべきではない。働いていた当時の被ばくの数値が書かれた手帳は持っている。数分で仕事をやめなければならない現場もあった。
- ・原発の放射線区域で働いているが、原発は嫌いだ、放射線が心配。
- ・反対すれば村八分にされるという噂があるが、私は反対。
- ・夫は定年になり、生活のために今は原発で働いている。ただ、福島事故のことを思うと心配でたまらない。



内浦湾対岸より高浜1・2号を望む

◆高浜1・2号機を動かすのは心配

- ・古い原発で心配。みなそう思っている。原子炉は古くなっても取り替えできない。

- ・60年も動かしたらダメ。車だって40年以上運転するなんてことはしない。
- ・1・2号は日本で一番古い。ただでさえスラッジとかあるので、老朽化は大変なことだ。
- ・毎日のように小さな事故は起きているみたいや。ホンマに毎日怖いでえ〜。
- ・高浜1・2号の再稼働はとても危ないと思っている。事故が起これば相当広範囲が汚染される。使用済燃料の受け入れ先はどこもない。ここに暮らしている者からしたら、中間貯蔵施設が今年中に見つからなかったら老朽炉止めてもらった方がよい。
- ・国や関電が何とかするから不安は無いが1・2号機を動かすことに心配はある。
- ・原発の寿命は40年と聞いた。老朽原発は怖いわな。
- ・親世代に高浜原発に地域ぐるみで反対していたが、色々な圧力や切り崩しに会い、地域の存続のために止む無く受け入れる決断をした。その際関電が言っていたのは、原発の稼働は30年、ヒューマンエラーは決して起こしませんだったが、嘘だった。

◆国も県も町も住民の意見を聞かない

- ・原発の事は気がかりなので、たびたび町役場に話に行っているが、一度もこちらの要望が通ったことがない。町役場は町民より金をくれる関電を大切にしている。
- ・原発でカネをもらっても、建物ばかりだ。原発で事故が起こったら、置いて逃げるしかない。
- ・民主主義は少数意見をくみ取ってもらえない。音海からの避難経路や避難計画は、(事故の原発前を通ることになっていて)実効性がない。車での避難はとても無理なので、(陽圧施設のある)避難所にまず避難して、そこに自衛隊のヘリ等で迎えに来てもらうように提案してほしい。
- ・町長は関電、国の言いなりだ。
- ・再稼働は我々がどうこうしても、政府が決めること。政府自身が進めようとしているからだめだ。政府が通すと言ったらそれで終わり。

◆高齢化、人口減少、多くの空き家（原発は住民の暮らしに役立っているのか）

- ・自分は80代、一人暮らし。子ども(60代)は舞鶴に住んでいて、原発で仕事している。近所は高齢者ばかり。
- ・昔、夏は海水浴客でここは潤った。今は、高速道路ができて日帰りするので夏もお客さんは全然宿泊してくれない。
- ・漁業のほうは、原発からの排水で海水温が上がり、魚が減っている。福島原発事故の後、しばらく原発が止まっていた時期は、魚が戻ってきていた。そんなこともあってか、この地区は、若い人が外へ出て帰ってこない。



高浜漁港

◆原発は必要。事故を起こさないように国や関電がちゃんとしてくれる

- ・電気が必要、原発の中で働いたことがある、老朽化というのが蒸気発生器や電気ケーブルなど中は新しくなっている。
- ・私は賛成派だ。原発を動かさないとやっていけない。危ないのは分かっているが、生活ができずに死ぬのと、事故が起きて死ぬのとどっちがよいかだ。国にしっかりしてほしい。
- ・電気が必要だから、代替りのものが確立するまでは原発が必要。
- ・子ども二人が関電に勤めていた、原発ではないが。関電の普通の社員は頑張っていますよ。
- ・専門家がきっちり整備、点検してやっているのだから、大丈夫だろう。そのように信頼していかないと、我々地元民としては、今更、安全性について心配をかけられたらキリがない。

住民の不安な思いを受け止め、原発の危険性を訴え、再稼働を止めていきましょう。